

記入例 (1) 鉄筋コンクリート造 4階建て共同住宅 (耐震等級 1)

○建物概要

建設地 東京都港区

規模等

- ・建物高さ 11.94m
- ・階数 地上 4階
- ・延べ面積 3,049.55m<sup>2</sup>
- ・住戸数 35戸

構造等

- ・鉄筋コンクリート造
- ・X方向 ラーメン構造
- ・Y方向 耐力壁付ラーメン構造
- ・基礎 杭基礎 (既製コンクリート杭)

○構造計算の手法

- ・X方向 保有水平耐力計算 (ルート3)
- ・Y方向 その他 (ルート1)

○性能表示事項

1-1 耐震等級 (倒壊等)	等級 1
1-2 耐震等級 (損傷)	等級 1
1-3 その他 (免震構造)	その他の構造
1-4 耐風等級	等級 2
1-5 耐積雪等級	区域外
3-1 劣化対策等級	等級 3

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称：□ 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（1）（概要）（住棟評価用）

- 1-1 耐震等級（構造躯体の倒壊等防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]
- 1-2 耐震等級（構造躯体の損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]
- 1-3 その他（地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]
- 1-4 耐風等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]
- 1-5 耐積雪等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]

- 注1. 申請者は [ ] 部分のみを記入する。  
 チェック欄：□は、該当部分のみを■とする。  
 2. 申請者記入特記事項・備考欄は、建設評価に伝えるための特記欄  
 3. 概要書・計算書、図面番号、関連設計図書欄は、設計評価のための注記欄で、いずれか一つの記入のみで可。  
 4. 同一敷地内に複数の棟が存する場合、類似内容であれば本書類は一つとし、違いは記号等を用いて区別する。

(1) 構造設計概要

確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
				確認	備考
構造概要	規模等 ・建物高さ [ ≒11.9 m ] 階数：地上 [ 4 階] 地下 [ 階] ・延べ面積 [ ≒3,049 m <sup>2</sup> ] ■ 耐震建築物 □ 耐震建築物以外（免震建築物等） 構造等 ・構造種別 [ 鉄筋コンクリート造 ] ・構造形式 [ Xまたは桁行方向 [ A棟：ラーメン構造 B棟：耐力壁付ラーメン構造 ] Yまたは張間方向 [ A棟：耐力壁付ラーメン構造 B棟：ラーメン構造 ] ・基礎構造 [ 杭基礎 ]		構造計算概要書 P.1	□	
構造計算	構造計算の手法 □ 時刻歴応答解析 ■ 保有水平耐力計算……A棟：X方向 B棟：Y方向 □ 限界耐力計算 □ 告示免震計算 □ 許容応力度等計算 ■ その他 [ 令第82条各号及び令第82条の4に定めるところによる構造計算 ] 構造計算の考え方 ・構造計算に際し採用したモデル化、解析手法、ルート判定等に関する、設計者の考え方		構造計算概要書 P.2~4	□	
材料仕様 (最大のもの)	コンクリート ・強度 [ Fc27 ] 鉄筋 ・主筋材質 [ SD345 ] 主筋径 [ D25 ] 鉄骨 ・鉄骨材質 [ ] ボルト材質 [ ] その他 [ ]		設計図 S-1	□	

(2) 適用対象の確認

確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
				確認	備考
高さ等	■ 31m以下 □ 31m超~45m以下 □ 45m超~60m以下 □ 60m超 ■ 建築基準法第20条第三号イ（ルート1）……A棟：Y方向 B棟：X方向		構造計算概要書 P.1~4	□	
構造認定等 注) 構造②のシートについて ・右の項のいずれかに該当する場合には、 構造②-A を使用し、認定書や確認済 証等を添付する ・右の項のいずれにも該当しない場合 保有耐力許容応力度計算の場合：構造②-B1~B3 限界耐力計算の場合：構造②-C1~C3 告示免震計算の場合：構造②-D1~D5 を使用する。	□ 建築基準法第20条第一号（超高層建築物の構造方法） □ 認定書 □ 性能評価書 □ 評価報告書 □ 建築基準法第20条第二号ロ、同第三号ロ、同第四号ロ（特殊の構造方法） □ 認定書 □ 性能評価書 □ 評価報告書 □ [ ] □ 評定書 □ 評価報告書 □ 品確法第58条（耐震等級、耐風等級、耐積雪等級に関する特別評価方法認定） □ 特別評価方法認定書 □ 試験結果証明書 ■ 建築基準法に基づく、耐震等級1の場合又は告示免震計算による場合 ■ 確認済証			□	
材料認定等 該当する認定書などを添付する	□ 建築基準法第37条第2号（建築材料認定） □ コンクリート □ 認定書 □ 性能評価書 □ 評価報告書 □ その他 [ ] □ 認定書 □ 性能評価書 □ 評価報告書			□	

設計内容説明書（兼自己評価書）

案件略称：  虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（2）（建築確認済みで等級1などの場合）

（3）等級の確認（建築確認済みで等級1などの場合）

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄		申請者記入 特記事項 ・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
						確認	備考
1-1 耐震等級 (構造躯体の倒壊等防止) <input type="checkbox"/> 評価対象外（免震建築物）	<input type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input checked="" type="checkbox"/> 等級1	適用倍率	<input type="checkbox"/> 倍率 1.5 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.25 以上 <input checked="" type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上		構造計算概要書 P.8	<input type="checkbox"/>	
1-2 耐震等級 (構造躯体の損傷防止) <input type="checkbox"/> 評価対象外（免震建築物）	<input type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input checked="" type="checkbox"/> 等級1	適用倍率	<input type="checkbox"/> 倍率 1.5 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.25 以上 <input checked="" type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上		構造計算概要書 P.8	<input type="checkbox"/>	
1-3 その他 (地震に対する構造躯体の倒壊等防止 及び損傷防止)	<input type="checkbox"/> 免震建築物 <input checked="" type="checkbox"/> その他	免震建築物の場合 の告示	<input type="checkbox"/> 平成12年建設省告示第2009号第1第3号 <input type="checkbox"/> 一（四号建築物） <input type="checkbox"/> 二（建基法20条第二号又は三号に掲げる建築物） <input type="checkbox"/> 三（時刻暦応答解析を行い大臣認定取得） <input type="checkbox"/> その他[ ]		構造計算概要書 P.1	<input type="checkbox"/>	
		維持管理	<input type="checkbox"/> 維持管理計画 <input type="checkbox"/> 敷地管理計画				
1-4 耐風等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	<input checked="" type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1	適用倍率	<input checked="" type="checkbox"/> 倍率 1.2 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上		加計算書 P.1	<input type="checkbox"/>	
1-5 耐積雪等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	<input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1 <input checked="" type="checkbox"/> 区域外	適用倍率	<input type="checkbox"/> 倍率 1.2 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上 <input checked="" type="checkbox"/> 多雪区域外		構造計算概要書 P.8	<input type="checkbox"/>	

風荷重を1.2倍して計算  
(風荷重: ルート3以外は極めて希に発生する暴風の力)

多雪区域のみに適用

注) 「1-2耐震等級」「1-4耐風等級」「1-5耐積雪等級」の評価項目を選択しない場合は、申請者記入特記事項欄に「選択無し」と記入願います。

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称： 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（3）（地盤・基礎）

1-6 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法 評価方法  評価方法基準による  その他 [ ]

1-7 基礎の構造方法及び形式等 評価方法  評価方法基準による  その他 [ ]

(6)(7) 基礎の構造方法及び形式等 / 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法

性能表示事項		設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入 特記事項 備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄		
					確認	備考	
直接基礎	構造方法	<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他 [ ]			<input type="checkbox"/>		
	形式	<input type="checkbox"/> 独立基礎					
		<input type="checkbox"/> 布基礎					
		<input type="checkbox"/> ベタ基礎 <input type="checkbox"/> その他 [ ]					
地盤の許容応力度		[ ] KN/m <sup>2</sup>					
杭状改良地盤基礎	杭状改良地盤の許容支持力	[ ] KN/m <sup>2</sup>			<input type="checkbox"/>		
	杭状改良地盤の許容支持力	[ ] KN/本					
	地盤改良方法	[ ]					
杭基礎	杭種	支持層 [ 支持層はGL-20m以深の砂礫層 <b>支持層を記入</b> ]			<input type="checkbox"/>		
		杭種 [ 支持杭(既製杭) ]					
		工法 [ プレポーリング拡大根固め工法 ]					
	杭径(最小~最大) 場所打杭、深礎は拡底径~拡頭径も表示 拡底径は設計径を表示	最小径 [ 40 ] cm ~ 最大径 [ 50 ] cm					既製杭で、上杭・下杭で径が異なる場合などは、最も長い部分の軸部の径を記入する (節杭は節径ではなく軸径を記入)
		最小拡頭径 [ ] cm ~ 最大拡頭径 [ ] cm 最小拡底径 [ ] cm ~ 最大拡底径 [ ] cm					
	杭長(最小~最大) 小数点以下切捨て	最小長 [ 22 ] m 最大長 [ 31 ] m	<b>既製杭は、拡頭・拡底径は記入しない</b>				
杭の許容支持力(最小~最大)	最小 [ 1575 ] KN/本 最大 [ 2433 ] KN/本						
設定方法 (設定の根拠となった地盤調査方法、地盤改良の方法等)	<input checked="" type="checkbox"/> 標準貫入試験 <input type="checkbox"/> 平板載荷試験 <input checked="" type="checkbox"/> 室内土質試験 <input type="checkbox"/> PS検層 <input type="checkbox"/> 孔内水平載荷試験				<input type="checkbox"/>		
		<b>2020年4月以降は「PS検層」、「孔内水平載荷試験」に■を記入しないで下さい</b>					
		<b>設計評価以降に実施予定の平板載荷試験は対象外</b>					

追加記入です

支持層を記入

1種類の場合は最小のみ記入

既製杭で、上杭・下杭で径が異なる場合などは、最も長い部分の軸部の径を記入する  
(節杭は節径ではなく軸径を記入)

2020年4月以降は「PS検層」、「孔内水平載荷試験」に■を記入しないで下さい

設計評価以降に実施予定の平板載荷試験は対象外

設計内容説明書 (兼 自己評価書)

案件略称:  虎ノ門マンション

3. 劣化の軽減に関すること (1) (住棟評価用)

3-1 劣化対策等級 (構造躯体等)

評価方法:  評価方法基準による  その他 [ ]

(1) 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 評価関連図書	評価者記入欄			
					確認	備考		
3-1 劣化対策等級 (構造躯体等)	<input checked="" type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1	<input checked="" type="checkbox"/> ①項~⑤項の全ての項目に適合 <input type="checkbox"/> ①項~⑤項の全ての項目に適合 <input type="checkbox"/> ⑤項のみに適合			<input type="checkbox"/>			
①.セメントの種類		<input checked="" type="checkbox"/> JISR5210 ポルトランドセメント <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 中庸熱 <input type="checkbox"/> 低熱 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> JISR5213 フライアッシュセメント: 混合物を除いた部分を、セメントの重量として用いる <input type="checkbox"/> JISR5211 高炉セメント: 混合物の10分の3を除いた部分を、セメントの重量として用いる		設計図 S-1	<input type="checkbox"/>			
②.水セメント比と かぶり厚さ		コンクリート		普通	軽量	普通	軽量	
		水セメント比 W/C(%)		等級3	<input checked="" type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> 45 <input type="checkbox"/> 55 <input type="checkbox"/> 50	等級2	<input type="checkbox"/> 55 <input type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> 60 <input type="checkbox"/> 55	設計図 S-1
		部位		最小かぶり厚さ (cm)				設計図 S-3
		直接土に接しない 部分のかぶり厚さ	耐力壁以外の壁又は床	屋内	2	3		
				屋外	3 (2)	4 (3)		
		直接土に接する 部分のかぶり厚さ	耐力壁、柱、はり又は壁ばり	屋内	3	4		
屋外	4 (3)			5 (4)				
直接土に接する部分のかぶり厚さ		壁、柱、床、はり、基礎ばり又は布基礎の立ち上り部分	4	5				
		基礎 (布基礎の立ち上り部分を除く。)	6	7				
		中庸熱・低熱ポルトランドセメント	適用可	適用外				
		( ) 内の数値は有効な仕上のある場合						
		<input type="checkbox"/> 水セメント比が部位により異なる場合、部位とW/Cを明示 [ ]						
		<input checked="" type="checkbox"/> 設計かぶり厚さは、最小かぶり厚さに施工誤差 (原則 1 cm) を考慮して設定						
		<input checked="" type="checkbox"/> 部材の断面算定にあたり、設計かぶり厚さを考慮している。						
③.コンクリートの品質等		<input checked="" type="checkbox"/> JIS規格コンクリート <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート強度が33N/mm <sup>2</sup> 未満の場合 スラブが18cm以下 <input type="checkbox"/> コンクリート強度が33N/mm <sup>2</sup> 以上の場合 スラブが21cm以下 <input type="checkbox"/> スラブが21cmを超える場合は大臣認定コンクリート使用 <input checked="" type="checkbox"/> 単位水量が185Kg/m <sup>3</sup> 以下 <input type="checkbox"/> 空気量が4%~6% (日最低気温の平滑年値の年間極値が0℃を下回る地域) <input type="checkbox"/> コクリート中含水率を高くしない措置その他有効な措置 [ ] <input type="checkbox"/> 認定コンクリート ・設計基準強度 ・単位水量 ・空気量 ・スラブ あるいはスラブ70-		電算P.92~112	<input type="checkbox"/>			
	<b>コンクリート強度は JASS5 (2009) のFm</b>		<b>大梁については、X・Yにおける主筋の上下関係が設計図で示され、それに基づいた断面算定がなされている必要がある</b>	設計図 S-3				
④.施工計画		<input type="checkbox"/> 認定コンクリートにおいて、等級3、等級2の場合 <input type="checkbox"/> 適切な施工計画を定める指定 <input type="checkbox"/> 適切な品質管理計画を定める指定 <input type="checkbox"/> 不具合の確認と対処方法を定める指定 <input checked="" type="checkbox"/> 密実に充填するための打込み及び締め固めの方法の指定 ・使用する締め固め機器の種類と使用方法 ・JASS5とは別の指定方法 [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 打ち継ぎ部の処理方法の指定 ・打ち継ぎ部の位置 ・打ち継ぎ部の形状 ・コンクリートの打ち継ぎ面の処置 ・JASS5とは別の指定方法 [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 養生方法の指定 ・湿潤養生の方法 ・養生期間 ・養生温度の配慮 ・JASS5とは別の指定方法 [ ]		設計図 S-3	<input type="checkbox"/>	<b>JASS5に準拠する場合には、対応する節番号を図面に記載する</b>		

3. 劣化の軽減に関すること (2) 案件略称:  虎ノ門マンション

(1) 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造 続き

性能表示事項 自己評価 等級	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入 特記事項 ・備考欄	概要書・計算書 図面番号 評価関連図書	評価者記入欄	
				確認	備考
⑤.その他の構造部材等	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 構造躯体等が令3章耐久性等関係規定のうちの下記の規定に適合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造部材（令第37条） ・コンクリートの材料（令第72条1,3号）</li> <li>・コンクリートの強度（令第74条3項）</li> <li>・コンクリートの養生（令第75条） ・鉄骨のかぶり厚さ（令第79条の3）</li> </ul> </li> <li><input type="checkbox"/> 特殊な工法によるものは、建設大臣が定めた技術的基準のうち劣化規定に従う                             <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 壁式鉄筋コンクリート造：平13国交告第1026号に適合</li> <li><input type="checkbox"/> プレストレストコンクリート造：昭58建告第1320号に適合</li> <li><input type="checkbox"/> 壁式ラーメン鉄筋コンクリート造：平13国交告第1025号に適合</li> <li><input type="checkbox"/> その他 [ ]</li> </ul> </li> </ul>			<input type="checkbox"/>	

(2) 鉄骨造

性能表示事項 自己評価 等級	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入 特記事項 ・備考欄	概要書・計算書 図面番号 評価関連図書	評価者記入欄	
				確認	備考
3-1 劣化対策等級 (構造躯体等)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 等級3</li> <li><input type="checkbox"/> 等級2</li> <li><input type="checkbox"/> 等級1</li> </ul>			<input type="checkbox"/>	
①.構造躯体	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ①項～④項の全ての項目に適合、但し*の項目は除外</li> <li><input type="checkbox"/> ①項～④項の全ての項目に適合、但し**の項目は除外</li> <li><input type="checkbox"/> ④項のみに適合</li> </ul>			<input type="checkbox"/>	
②.床下	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 柱、梁、筋かいの防錆措置は評価方法基準 3-1(3) <input type="checkbox"/> ①a の基準に適合**</li> <li><input type="checkbox"/> 柱、梁、筋かいの防錆措置は評価方法基準 3-1(3) <input type="checkbox"/> ②a の基準に適合*</li> <li><input type="checkbox"/> 柱、梁、筋かい以外の部分は鉛系さび止めペイント塗り回数2以上、又は同等の防錆措置 ただし、等級3の場合は厚さ12mm（等級2の場合は厚さ9mm）以上の鋼材については、この限りでない</li> </ul>			<input type="checkbox"/>	
③.小屋裏	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 床下は評価方法基準 3-1(3)イ①f の基準に適合</li> </ul>			<input type="checkbox"/>	
④.構造部材等	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 小屋裏は評価方法基準 3-1(3)イ①g の基準に適合</li> </ul>			<input type="checkbox"/>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 構造躯体等が構造部材の耐久（令第37条）に適合</li> <li><input type="checkbox"/> 構造方法に関する補足：特殊な工法によるものは、国土交通大臣が定めた技術的基準のうち劣化規定に従う                             <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> [ ]</li> </ul> </li> </ul>			<input type="checkbox"/>	

記入例 (2) 鉄筋コンクリート造 7階建て共同住宅 (耐震等級 2)

○建物概要

建設地 北海道札幌市

規模等

- ・建物高さ 21.37m
- ・階数 地上 7階
- ・延べ面積 2,809.92m<sup>2</sup>
- ・住戸数 31戸

構造等

- ・鉄筋コンクリート造
- ・X方向 ラーメン構造
- ・Y方向 耐力壁付ラーメン構造
- ・基礎 直接基礎 (ベタ基礎) 一部杭状改良地盤

○構造計算の手法

- ・X方向 保有水平耐力計算 (ルート3)
- ・Y方向 保有水平耐力計算 (ルート3)

○性能表示事項

1-1 耐震等級 (倒壊等)	等級 2
1-2 耐震等級 (損傷)	等級2
1-3 その他 (免震構造)	その他の構造
1-4 耐風等級	等級 2
1-5 耐積雪等級	等級 2
3-1 劣化対策等級	等級 3

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称：○ 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（1）（概要）（住棟評価用）

- 1-1 耐震等級（構造躯体の倒壊等防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]
- 1-2 耐震等級（構造躯体の損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]
- 1-3 その他（地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]
- 1-4 耐風等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]
- 1-5 耐積雪等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]

- 注1. 申請者は [ ] 部分のみを記入する。  
 チェック欄：□は、該当部分のみを■とする。  
 2. 申請者記入特記事項・備考欄は、建設評価に伝えるための特記欄  
 3. 概要書・計算書、図面番号、関連設計図書欄は、設計評価のための注記欄で、いずれか一つの記入のみで可。  
 4. 同一敷地内に複数の棟が存する場合、類似内容であれば本書類は一つとし、違いは記号等を用いて区別する。

(1) 構造設計概要

確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
				確認	備考
構造概要	規模等	・建物高さ [ ≒21 m ] 階数：地上 [ 7 階] 地下 [ 階] ・延べ面積 [ ≒2,809 m <sup>2</sup> ]	構造計算概要書 P.1	□	
	耐震、免震等	■ 耐震建築物 □ 耐震建築物以外（免震建築物等）			
	構造等	・構造種別 [ 鉄筋コンクリート造 ]			
		・構造形式 [ Xまたは桁行方向 [ 純ラーメン構造 ] Yまたは張間方向 [ 耐力壁付ラーメン構造 ] ]			
・基礎構造 [ 直接基礎 ]					
構造計算	構造計算の手法	□ 時刻歴応答解析 ■ 保有水平耐力計算 □ 限界耐力計算 □ 告示免震計算 □ 許容応力度等計算 □ その他 [ 令第82条各号及び令第82条の4に定めるところによる構造計算 ]	構造計算概要書 P.2~4	□	
	構造計算の考え方	・構造計算に際し採用したモデル化、解析手法、ルート判定等に関する、設計者の考え方			
材料仕様 (最大のもの)	コンクリート	・強度 [ Fc30 ]	設計図 S-1	□	
	鉄筋	・主筋材質 [ SD390 ] 主筋径 [ D32 ]			
	鉄骨	・鉄骨材質 [ ] ボルト材質 [ ]			
	その他	[ 高強度せん断補強筋 KSS785 ]			

≒を付けて数値を丸めてよい

(2) 適用対象の確認

確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
				確認	備考
高さ等	■ 31m以下 □ 31m超~45m以下 □ 45m超~60m以下 □ 60m超 □ 建築基準法第20条第三号イ（ルート1）		構造計算概要書 P.1	□	
構造認定等	□ 建築基準法第20条第一号（超高層建築物の構造方法） □ 認定書 □ 性能評価書 □ 評価報告書 □ 建築基準法第20条第二号ロ、同第三号ロ、同第四号ロ（特殊の構造方法） □ 認定書 □ 性能評価書 □ 評価報告書 □ [ ] □ 評定書 □ 評価報告書			□	
注）構造②のシートについて ・右の項のいずれかに該当する場合には、 構造②-A を使用し、認定書や確認済証等を添付する ・右の項のいずれにも該当しない場合 保有耐力許容応力度計算の場合：構造②-B1~B3 限界耐力計算の場合：構造②-C1~C3 告示免震計算の場合：構造②-D1~D5 を使用する。	□ 品確法第58条（耐震等級、耐風等級、耐積雪等級に関する特別評価方法認定） □ 特別評価方法認定書 □ 試験結果証明書 □ 建築基準法に基づく、耐震等級1の場合又は告示免震計算による場合 □ 確認済証				
材料認定等 該当する認定書などを添付する	■ 建築基準法第37条第2号（建築材料認定） □ コンクリート □ 認定書 □ 性能評価書 □ 評価報告書 ■ その他 [ 高強度せん断補強筋 KSS785 ] ■ 認定書 □ 性能評価書 □ 評価報告書			□	

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称：○ 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（2）（保有水平耐力又は許容応力度計算）

（3）等級の確認（保有水平耐力又は許容応力度計算）

性能表示事項	自己評価等級	確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入 特記事項 ・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
						確認	備考
1-1 耐震等級 (構造躯体の 倒壊等防止) □ 評価対象外（免震建築物）	□ 等級3 ■ 等級2 □ 等級1	適用倍率	□ 倍率1.5 以上 ■ 倍率1.25以上 □ 倍率1.0 以上		LP出力 P137	□	
		①各構造種別共通 計算ルート3  (保有水平耐力) (必要保有水平耐力)	■ 保有水平耐力の確認 ・地震力もしくは必要保有水平耐力に適用倍率を乗じた上で、 全層について保有水平耐力 $Q_u \geq$ 必要保有水平耐力 $Q_{un}$ を満足 ・全層についての $Q_u$ が材料強度に応じて適切に設定されている ・全層について $Q_{un}$ が適切に計算されている		LP出力 P137		
		②鉄筋コンクリート造 計算ルート2-1 計算ルート2-2 計算ルート2-3 計算ルート1	壁量、柱量の確保の確認と応力度の確認 □ 強度型(1) $\sum 2.5\alpha A_w + \sum 7\alpha A_c \geq 0.75ZWA_i \times$ 適用倍率 □ 強度型(2) $\sum 1.8\alpha A_w + \sum 1.8\alpha A_c \geq ZWA_i \times$ 適用倍率 □ 靱性型：等級2以上への適合判定には利用しない □ 強度型 $\sum 2.5\alpha A_w + \sum 7\alpha A_c \geq ZWA_i \times$ 適用倍率 □ 地震力に適用倍率を乗じた上で全ての部材の存在応力度 $\leq$ 許容応力度				
		③鉄骨鉄筋コンクリート造 計算ルート2-1 計算ルート2-2 計算ルート2-3 計算ルート1	壁量、柱量の確保の確認と応力度の確認 □ 強度型(1) $\sum 2.5\alpha A_w + \sum 1.0\alpha A_c \geq 0.75ZWA_i \times$ 適用倍率 □ 強度型(2) $\sum 2.0\alpha A_w + \sum 2.0\alpha A_c \geq ZWA_i \times$ 適用倍率 □ 靱性型：等級2以上への適合判定には利用しない □ 強度型 $\sum 2.5\alpha A_w + \sum 1.0\alpha A_c \geq ZWA_i \times$ 適用倍率 □ 地震力に適用倍率を乗じた上で全ての部材の存在応力度 $\leq$ 許容応力度				
		④鉄骨造 計算ルート2  計算ルート1	□ 適用倍率と $\beta'$ による応力割増の上で全ての部材の存在応力度 $\leq$ 許容応力度 ・柱及び梁の仕口部、継手部を保有耐力接合としている ・梁は保有耐力横補剛としている ・筋かいの端部・接合部の破断防止が適切に設定されている ・柱脚部の破断防止が適切に設定されている □ 下記の応力割増しの上で全ての部材の存在応力度 $\leq$ 許容応力度 ・標準せん断力係数 $C_0$ が 0.4 x 適用倍率以上、 また、水平力を負担する筋かいを有する階にあっては 0.5 x 適用倍率以上 ・2等級以上の場合、偏心率、靱性率の値がそれぞれ0.15以下、0.6以上になっている。 ・筋かいの端部・接合部の破断防止が適切に設定されている				
1-2 耐震等級 (構造躯体の 損傷防止) (地上、地下および 基礎、杭も評価対象) □ 評価対象外（免震建築物）	□ 等級3 ■ 等級2 □ 等級1	適用倍率	□ 倍率1.5 以上 ■ 倍率1.25以上 □ 倍率1.0 以上		一貫出力 P32	□	
		構造の安定の確認	■ 地震力もしくは存在応力度に適用倍率を乗じた上で、 全ての部材(主要構造部として杭・地盤を含む)の存在応力度 $\leq$ 許容応力度		一貫出力 P32 GP出力 P34		
		層間変形角	■ 地震力に適用倍率を乗じた上で各階層間変形角 $\leq 1/200$ または $\leq 1/[ \quad ]$ (120までの間で緩和値を規定)		一貫出力 P95		
		剛性率 $R_s$ ：ルート1は計算不要 但し、鉄骨造で等級2以上は必要	■ 全層・全方向について剛性率 $R_s \geq 0.6$ 以上となっている 但し、ルート3は $R_s < 0.6$ でも可		一貫出力 P95		
		偏心率 $R_e$ ：ルート1は計算不要 但し、鉄骨造で等級2以上は必要	■ 全層・全方向について偏心率 $R_e \leq 0.15$ となっている 但し、ルート3は $R_e > 0.15$ でも可		一貫出力 P96		

(3) 等級の確認（保有水平耐力又は許容応力度計算）続き

性能表示事項 自己評価等級	確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入 特記事項 備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
					確認	備考
1-3 その他 (地震に対する 構造躯体の倒壊等 防止及び損傷防止) <input type="checkbox"/> 免震建築物 <input checked="" type="checkbox"/> その他					<input type="checkbox"/>	
1-4 耐風等級 (構造躯体の倒壊等 防止及び損傷防止) <input checked="" type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1	適用倍率等	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 倍率 1.2以上</li> <li><input type="checkbox"/> 倍率 1.0以上</li> <li><input type="checkbox"/> 風圧力もしくは存在応力度に適用倍率を乗じた上で、 全ての部材の存在応力度 ≤ 許容応力度</li> </ul>		住宅性能評価検討書 I-4	<input type="checkbox"/>	
1-5 耐積雪等級 (構造躯体の倒壊等 防止及び損傷防止) <input checked="" type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1 <input type="checkbox"/> 区域外	適用倍率等	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 倍率 1.2以上</li> <li><input type="checkbox"/> 倍率 1.0以上</li> <li><input type="checkbox"/> 多雪区域外</li> <li><input type="checkbox"/> 積雪荷重もしくは存在応力度に適用倍率を乗じた上で、 全ての部材の存在応力度 ≤ 許容応力度</li> </ul>		住宅性能評価検討書 I-5	<input type="checkbox"/>	

耐風等級2の場合は風荷重を1.2倍としてチェック

長期(G+P+0.75S)及び短期(G+P+S)のS  
に対して、適用倍率1.2を考慮

注) 「1-2耐震等級」「1-4耐風等級」「1-5耐積雪等級」の評価項目を選択しない場合は、申請者記入特記事項欄に「選択無し」と記入願います。

(4) その他の確認事項（保有水平耐力又は許容応力度計算）

確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入 特記事項 備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
				確認	備考
積雪時を除く常時荷重に関する許容応力度計算	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての部材の存在応力度 ≤ 許容応力度		一貫出力 P98 GP出力 P34	<input type="checkbox"/>	
仕様規定	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 法令の仕様規定に適合している。</li> <li>第2節 構造部材等                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造部材の耐久（令第37条）・基礎（令第38条）</li> </ul> </li> <li>第6節 鉄筋コンクリート造                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリートの材料（令第72条）・強度（令第74条）・養生（令第75条）</li> <li>・鉄筋の継手及び定着（令第73条）・かぶり厚さ（令第79条）</li> <li>・柱（令第77条）・床版（令第77条の2）・はり（令第78条）の構造</li> <li>・耐力壁（令第78条の2）・型わく及び支柱の除去（令第76条）</li> </ul> </li> <li>第6節2 鉄骨鉄筋コンクリート造                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄骨のかぶり厚さ（令第79条の3）</li> </ul> </li> <li>第5節 鉄骨造                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料（令第64条）・圧縮材の有効細長比（令第65条）</li> <li>・柱の脚部（令第66条）・接合（令第67条）</li> <li>・高力ボルト及びボルト（令第68条）・斜材・壁等の配置（令第69条）</li> </ul> </li> </ul>		S-2~8	<input type="checkbox"/>	
荷重及び外力	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 荷重及び外力の種類と大きさ及び組合せが法令に適合している。</li> <li>種類と大きさ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・固定荷重（令第84条）</li> <li>・積雪荷重（令第86条）</li> <li>・積載荷重（令第85条）</li> <li>・風圧力（令第87条）</li> <li>・地震力（令第88条）</li> </ul> </li> <li>荷重及び外力の組合せ                             <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 長期及び短期（令第82条）</li> <li><input type="checkbox"/> 極めて稀に発生する大規模な暴風および積雪（令第82条の5）</li> </ul> </li> </ul>			<input type="checkbox"/>	
許容応力度及び材料強度	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 許容応力度及び材料強度が法令に適合している。</li> <li>許容応力度                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート（令第91条）</li> <li>・鉄筋（令第90条第2号）</li> <li>・鋼材（令第90条第1号）</li> </ul> </li> <li>材料強度                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート（令第97条）</li> <li>・鉄筋（令第96条第2号）</li> <li>・溶接（令第92条）</li> <li>・高力ボルト接合（令第92条の2）</li> <li>・地盤及び基礎杭（令第93条）</li> <li>・鋼材（令第96条第1号）</li> <li>・溶接（令第98条）</li> </ul> </li> </ul>			<input type="checkbox"/>	

(4) その他の確認事項（保有水平耐力又は許容応力度計算）続き

確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入 特記事項 備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
				確認	備考
計算と設計図の整合	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 計算の内容を設計図に反映している。</li> <li>• 構造要素の配置、構造部材の基準強度、接合方法など</li> </ul>			<input type="checkbox"/>	
認定構造方法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 認定書等で確認するか、設計図に明示している。</li> <li>• 構造方法、建築材料など</li> </ul>		S-2	<input type="checkbox"/>	
構造計算ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 認定ソフトを使用している。(認定書要添付)</li> <li>• ワーニングメッセージの説明・電算チェックリストの添付・記号の説明</li> </ul>		最終頁 P6-1	<input type="checkbox"/>	

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称：○ 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（3）（地盤・基礎）

1-6 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]

1-7 基礎の構造方法及び形式等 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]

(6)(7) 基礎の構造方法及び形式等 / 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法

性能表示事項		設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入 特記事項 備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄
					確認 備考
直接基礎	構造方法	<input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他 [ ]			□
	形式	<input type="checkbox"/> 独立基礎			
		<input type="checkbox"/> 布基礎			
		<input checked="" type="checkbox"/> ベタ基礎 <input type="checkbox"/> その他 [ ]			
地盤の許容応力度	[ 30 ] KN/m <sup>2</sup>				
杭状改良地盤基礎	杭状改良地盤の許容支持力度	[ 30 ] KN/m <sup>2</sup>			□
	杭状改良地盤の許容支持力	[ ] KN/本			
	地盤改良方法	[ 深層混合処理工法 ]			
杭基礎	杭種	支持層 [ ]			□
		杭種 [ ]			
		工法 [ ]			
	杭径（最小～最大） 場所打杭、深礎は拡底径～拡頭径も表示 拡底径は設計径を表示	最小径 [ ] cm ~ 最大径 [ ] cm			
		最小拡頭径 [ ] cm ~ 最大拡頭径 [ ] cm			
		最小拡底径 [ ] cm ~ 最大拡底径 [ ] cm			
	杭長（最小～最大）小数点以下切捨て	最小長 [ ] m			
最大長 [ ] m					
杭の許容支持力（最小～最大）	最小 [ ] KN/本 最大 [ ] KN/本				
設定方法 (設定の根拠となった地盤調査方法、地盤改良の方法等)	<input checked="" type="checkbox"/> 標準貫入試験 <input type="checkbox"/> 平板載荷試験 <input checked="" type="checkbox"/> 室内土質試験 <input type="checkbox"/> PS検層 <input type="checkbox"/> 孔内水平載荷試験 <input type="checkbox"/> 地盤改良 [ ] <input type="checkbox"/> その他 [ ]				

追加記入です

杭状改良地盤以外の箇所の許容応力度を記入する

許容支持力度、許容支持力のいずれかを記入する

深層混合処理工法、浅層混合処理工法等と記入する

2020年4月以降は「PS検層」、「孔内水平載荷試験」に■を記入しないで下さい

【構造③】に記入し、ここは空欄とする

設計評価以降に実施予定の平板載荷試験は対象外

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称： ○ 虎ノ門マンション

3. 劣化の軽減に関すること（1）（住棟評価用）

3-1 劣化対策等級（構造躯体等）

評価方法： ■ 評価方法基準による □ その他 [ ]

(1) 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄				申請者記入 特記事項 ・備考欄	概要書・計算書 図面番号 評価関連図書	評価者記入欄				
								確認	備考			
3-1 劣化対策等級 (構造躯体等)	<input checked="" type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1	<input checked="" type="checkbox"/> ①項～⑤項の全ての項目に適合 <input type="checkbox"/> ①項～⑤項の全ての項目に適合 <input type="checkbox"/> ⑤項のみに適合						<input type="checkbox"/>				
①.セメントの種類		<input checked="" type="checkbox"/> JISR5210 ボルトランドセメント <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 中庸熱 <input type="checkbox"/> 低熱 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> JISR5213 フライアッシュセメント：混合物を除いた部分を、セメントの重量として用いる <input type="checkbox"/> JISR5211 高炉セメント：混合物の10分の3を除いた部分を、セメントの重量として用いる					設計図 S-1	<input type="checkbox"/>				
②.水セメント比と かぶり厚さ		コンクリート				普通	軽量	普通	軽量	設計図 S-1		
		水セメント比 W/C(%)		等級3	<input checked="" type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> 45 <input type="checkbox"/> 55 <input type="checkbox"/> 50						設計図 S-3	
				等級2	<input type="checkbox"/> 55 <input type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> 60 <input type="checkbox"/> 55							
		直接土に接しない部分のかぶり厚さ		部位		最小かぶり厚さ (cm)						設計図 S-3
		耐力壁以外の壁又は床	屋内	2	3							
			屋外	3 (2)	4 (3)							
		耐力壁、柱、はり又は壁ばり	屋内	3	4							
			屋外	4 (3)	5 (4)							
		直接土に接する部分のかぶり厚さ	壁、柱、床、はり、基礎ばり又は布基礎の立ち上り部分		4	5						
		基礎 (布基礎の立上り部分を除く。)		6	7							
中庸熱・低熱ボルトランドセメント		適用可		適用外								
<input type="checkbox"/> 水セメント比が部位により異なる場合、部位とW/Cを明示 [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 設計かぶり厚さは、最小かぶり厚さに施工誤差（原則1cm）を考慮して設定 <input checked="" type="checkbox"/> 部材の断面算定にあたり、設計かぶり厚さを考慮している。		( ) 内の数値は有効な仕上のある場合					電算P.92～112					
③.コンクリートの品質等		<input checked="" type="checkbox"/> JIS規格コンクリート <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート強度が33N/mm <sup>2</sup> 未満の場合 スランプが18cm以下 <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート強度が33N/mm <sup>2</sup> 以上の場合 スランプが21cm以下 <input type="checkbox"/> スランプが21cmを超える場合は大臣認定コンクリート使用 <input checked="" type="checkbox"/> 単位水量が185Kg/m <sup>3</sup> 以下 <input checked="" type="checkbox"/> 空気量が4%～6%（日最低気温の平滑平年値の年間極値が0℃を下回る地域） <input type="checkbox"/> コンクリート中含水率を高くしない措置その他有効な措置 [ ] <input type="checkbox"/> 認定コンクリート ・設計基準強度 ・単位水量 ・空気量 ・スランプ あるいはスランプ70-					設計図 S-3	<input type="checkbox"/>				
		大梁については、X・Yにおける主筋の上下関係が設計図で示され、それに基づいた断面算定がなされている必要がある										
④.施工計画		<input type="checkbox"/> 認定コンクリートにおいて、等級3、等級2の場合 <input type="checkbox"/> 適切な施工計画を定める指定 <input type="checkbox"/> 適切な品質管理計画を定める指定 <input type="checkbox"/> 不具合の確認と対処方法を定める指定						<input type="checkbox"/>				
		<input checked="" type="checkbox"/> 密実に充填するための打込み及び締め固めの方法の指定 ・使用する締め固め機器の種類と使用方法 ・JASS5とは別の指定方法 [ ]						設計図 S-3	JASS5に準拠する場合には、対応する節番号を図面に記載する			
		<input checked="" type="checkbox"/> 打ち継ぎ部の処理方法の指定 ・打継ぎ部の位置 ・打継ぎ部の形状 ・コンクリートの打継ぎ面の処置 ・JASS5とは別の指定方法 [ ]										
		<input checked="" type="checkbox"/> 養生方法の指定 ・湿潤養生の方法 ・養生期間 ・養生温度の配慮 ・JASS5とは別の指定方法 [ ]										

コンクリート強度は JASS5(2009)のFm

大梁については、X・Yにおける主筋の上下関係が設計図で示され、それに基づいた断面算定がなされている必要がある

有効な仕上のある場合とは、「外壁の屋外に面する部位に、タイル張り、モルタル塗り、外断熱工法による仕上、その他これらと同等以上の性能を有する処理が施される場合」である  
これより、屋外のスラブ、梁の水平面には適用されない

JASS5に準拠する場合には、対応する節番号を図面に記載する

3. 劣化の軽減に関すること (2)   案件略称： ○ 虎ノ門マンション

(1) 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造 続き

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 評価関連図書	評価者記入欄	
					確認	備考
⑤.その他の構造部材等		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 構造躯体等が令3章耐久性等関係規定のうちの下記の規定に適合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構造部材（令第37条） ・ コンクリートの材料（令第72条1,3号）</li> <li>・ コンクリートの強度（令第74条3項）</li> <li>・ コンクリートの養生（令第75条） ・ 鉄骨のかぶり厚さ（令第79条の3）</li> </ul> </li> <li>□ 特殊な工法によるものは、建設大臣が定めた技術的基準のうちの劣化規定に従う                             <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 壁式鉄筋コンクリート造：平13国交告第1026号に適合</li> <li>□ プレストレストコンクリート造：昭58建告第1320号に適合</li> <li>□ 壁式ラーメン鉄筋コンクリート造：平13国交告第1025号に適合</li> <li>□ その他 [ ]</li> </ul> </li> </ul>			<input type="checkbox"/>	

(2) 鉄骨造

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 評価関連図書	評価者記入欄	
					確認	備考
3-1 劣化対策等級 (構造躯体等)	<input type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1	<input type="checkbox"/> ①項～④項の全ての項目に適合、但し*の項目は除外 <input type="checkbox"/> ①項～④項の全ての項目に適合、但し**の項目は除外 <input type="checkbox"/> ④項のみに適合			<input type="checkbox"/>	
①.構造躯体		<input type="checkbox"/> 柱、梁、筋かいの防錆措置は評価方法基準 3-1(3) □①a の基準に適合** <input type="checkbox"/> 柱、梁、筋かいの防錆措置は評価方法基準 3-1(3) □②a の基準に適合* <input type="checkbox"/> 柱、梁、筋かい以外の部分は鉛系さび止めペイント塗り回数2以上、又は同等の防錆措置 ただし、等級3の場合は厚さ12mm（等級2の場合は厚さ9mm）以上の鋼材については、この限りでない			<input type="checkbox"/>	
②.床下		<input type="checkbox"/> 床下は評価方法基準 3-1(3) イ①f の基準に適合			<input type="checkbox"/>	
③.小屋裏		<input type="checkbox"/> 小屋裏は評価方法基準 3-1(3) イ①g の基準に適合			<input type="checkbox"/>	
④.構造部材等		<input type="checkbox"/> 構造躯体等が構造部材の耐久（令第37条）に適合 <input type="checkbox"/> 構造方法に関する補足：特殊な工法によるものは、国土交通大臣が定めた技術的基準のうちの劣化規定に従う <input type="checkbox"/> [ ]			<input type="checkbox"/>	

### 3.1.4 記入例(3) 鉄筋コンクリート造 54階建て共同住宅(超高層建築物)

#### ○建物概要

建設地 静岡県静岡市

規模等

- ・建物高さ 174.90m
- ・階数 地上 54階、地下2階、塔屋1階
- ・延べ面積 81,965.04m<sup>2</sup>
- ・住戸数 673戸

構造等

- ・鉄筋コンクリート造
- ・地上階 純ラーメン構造
- ・地下階 耐力壁付ラーメン構造
- ・基礎 杭基礎(場所打ちコンクリート拡底杭)

#### ○構造計算の手法

・時刻歴応答解析

#### ○性能表示事項

1-1 耐震等級(倒壊等)	等級 1
1-2 耐震等級(損傷)	等級 1
1-3 その他(免震構造)	その他の構造
1-4 耐風等級	等級 2
1-5 耐積雪等級	区域外
3- 1劣化対策等級	等級 3

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称：△ 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（1）（概要）（住棟評価用）

- 1-1 耐震等級（構造躯体の倒壊等防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]
- 1-2 耐震等級（構造躯体の損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]
- 1-3 その他（地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]
- 1-4 耐風等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]
- 1-5 耐積雪等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]

- 注1. 申請者は [ ] 部分のみを記入する。  
 チェック欄：□は、該当部分のみを■とする。  
 2. 申請者記入特記事項・備考欄は、建設評価に伝えるための特記欄  
 3. 概要書・計算書、図面番号、関連設計図書欄は、設計評価のための注記欄で、いずれか一つの記入のみで可。  
 4. 同一敷地内に複数の棟が存する場合、類似内容であれば本書類は一つとし、違いは記号等を用いて区別する。

(1) 構造設計概要

確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
				確認	備考
構造概要	規模等	・建物高さ [ ≒174 m ] 階数：地上 [ 54 階] 地下 [ 2 階] ・延べ面積 [ ≒81965 m <sup>2</sup> ]	構造計算概要書 P.1	□	
	耐震、免震等	■ 耐震建築物 □ 耐震建築物以外（免震建築物等）			
	構造等	・構造種別 [ 鉄筋コンクリート造 ]			
		・構造形式 Xまたは桁行方向 [ 純ラーメン構造 ] Yまたは張間方向 [ 純ラーメン構造 ]			
構造計算	・基礎構造 [ 杭基礎 ]	構造計算概要書 P.2~4	□		
構造計算の手法	■ 時刻歴応答解析 □ 保有水平耐力計算 □ 限界耐力計算 □ 告示免震計算 □ 許容応力度等計算 □ その他 [ 令第82条各号及び令第82条の4に定めるところによる構造計算 ]				
材料仕様 (最大のもの)	コンクリート	・強度 [ Fc70 ]	設計図 S-1	□	
	鉄筋	・主筋材質 [ SD490 ] 主筋径 [ D41 ]			
	鉄骨	・鉄骨材質 [ ] ボルト材質 [ ]			
	その他	[ 高強度せん断補強筋 KSS785 ]			

≒を付けて数値を丸めてよい

(2) 適用対象の確認

確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
				確認	備考
高さ等	□ 31m以下 □ 31m超~45m以下 □ 45m超~60m以下 ■ 60m超 □ 建築基準法第20条第三号イ（ルート1）	時刻歴応答解析、免震等の高度な計算の場合、耐震等級、耐風等級、耐積雪等級のいずれかが2以上の場合は、品確法上の特別評価方法認定が必要となる	構造計算概要書 P.1	□	
構造認定等	■ 建築基準法第20条第一号（超高層建築物の構造方法） ■ 認定書 ■ 性能評価書 □ 評価報告書				
注）構造②のシートについて ・右の項のいずれかに該当する場合には、 構造②-A を使用し、認定書や確認済証等を添付する ・右の項のいずれにも該当しない場合 保有耐力許容応力度計算の場合：構造②-B1~B3 限界耐力計算の場合：構造②-C1~C3 告示免震計算の場合：構造②-D1~D5 を使用する。	□ 建築基準法第20条第二号ロ、同第三号ロ、同第四号ロ（特殊の構造方法） □ 認定書 □ 性能評価書 □ 評価報告書 □ [ ] □ 評定書 □ 評価報告書				
材料認定等	■ 品確法第58条（耐震等級、耐風等級、耐積雪等級に関する特別評価方法認定） ■ 特別評価方法認定書 ■ 試験結果証明書 ■ 建築基準法に基づく、耐震等級1の場合又は告示免震計算による場合 ■ 確認済証				
材料認定等 該当する認定書などを添付する	■ 建築基準法第37条第2号（建築材料認定） ■ コンクリート ■ 認定書 ■ 性能評価書 □ 評価報告書 ■ その他 [ 高強度せん断補強筋 KSS785 ] ■ 認定書 □ 性能評価書 □ 評価報告書	構造②-Aのみに記入し、構造③へ進む			

時刻歴応答解析、免震等の高度な計算の場合、耐震等級、耐風等級、耐積雪等級のいずれかが2以上の場合は、品確法上の特別評価方法認定が必要となる

構造②-Aのみに記入し、構造③へ進む

設計内容説明書（兼自己評価書）

案件略称：△ 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（2）（建築確認済みで等級1などの場合）

（3）等級の確認（建築確認済みで等級1などの場合）

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄		申請者記入 特記事項 ・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
						確認	備考
1-1 耐震等級 (構造躯体の倒壊等防止) <input type="checkbox"/> 評価対象外（免震建築物）	<input type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input checked="" type="checkbox"/> 等級1	適用倍率	<input type="checkbox"/> 倍率 1.5 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.25 以上 <input checked="" type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上		構造計算書	<input type="checkbox"/>	
1-2 耐震等級 (構造躯体の損傷防止) <input type="checkbox"/> 評価対象外（免震建築物）	<input type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input checked="" type="checkbox"/> 等級1	適用倍率	<input type="checkbox"/> 倍率 1.5 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.25 以上 <input checked="" type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上		構造計算書	<input type="checkbox"/>	
1-3 その他 (地震に対する構造躯体の倒壊等防止 及び損傷防止)	<input type="checkbox"/> 免震建築物 <input checked="" type="checkbox"/> その他	免震建築物の場合 の告示	<input type="checkbox"/> 平成12年建設省告示第2009号第1第3号 <input type="checkbox"/> 一（四号建築物） <input type="checkbox"/> 二（建基法20条第二号又は三号に掲げる建築物） <input type="checkbox"/> 三（時刻歴応答解析を行い大臣認定取得） <input type="checkbox"/> その他[			<input type="checkbox"/>	
		維持管理	<input type="checkbox"/> 維持管理計画 <input type="checkbox"/> 敷地管理計画			<input type="checkbox"/>	
1-4 耐風等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	<input checked="" type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1	適用倍率	<input checked="" type="checkbox"/> 倍率 1.2 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上		特別評価方法大臣認定書	<input type="checkbox"/>	
1-5 耐積雪等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	<input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1 <input checked="" type="checkbox"/> 区域外	適用倍率	<input type="checkbox"/> 倍率 1.2 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上 <input checked="" type="checkbox"/> 多雪区域外			<input type="checkbox"/>	

時刻歴応答解析、免震等の高度な計算の場合、耐震等級、耐風等級、耐積雪等級のいずれかが2以上の場合は、品確法上の特別評価方法認定が必要となる

多雪区域のみに適用

注）「1-2耐震等級」「1-4耐風等級」「1-5耐積雪等級」の評価項目を選択しない場合は、申請者記入特記事項欄に「選択無し」と記入願います。

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称：△ 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（3）（地盤・基礎）

1-6 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]

1-7 基礎の構造方法及び形式等 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]

(6)(7) 基礎の構造方法及び形式等 / 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法

性能表示事項		設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入 特記事項 備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
					確認	備考
直接基礎	構造方法	<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他 [ ]			<input type="checkbox"/>	
	形式	<input type="checkbox"/> 独立基礎				
		<input type="checkbox"/> 布基礎				
		<input type="checkbox"/> ベタ基礎 <input type="checkbox"/> その他 [ ]				
地盤の許容応力度		[ ] KN/m <sup>2</sup>				
杭状改良地盤基礎	杭状改良地盤の許容支持力度	[ ] KN/m <sup>2</sup>			<input type="checkbox"/>	
	杭状改良地盤の許容支持力	[ ] KN/本	支持層を記入			
	地盤改良方法	[ ]				
杭基礎	杭種	支持層 [ GL-40以深の砂礫層を支持層とする ]			<input type="checkbox"/>	
		杭種 [ 支持杭(場所打ち杭) ]				
		工法 [ アースドリル底底工法(HND工法) ]				
	杭径（最小～最大） 場所打ち杭、深礎は拡底径～拡頭径も表示 拡底径は設計径を表示	最小径 [ 150 ] cm ~ 最大径 [ 250 ] cm				
		最小拡頭径 [ ] cm ~ 最大拡頭径 [ ] cm 最小拡底径 [ 260 ] cm ~ 最大拡底径 [ 410 ] cm				
	杭長（最小～最大）小数点以下切捨て	最小長 [ 43 ] m 最大長 [ 53 ] m				
杭の許容支持力（最小～最大）	最小 [ 11928 ] KN/本 最大 [ 30812 ] KN/本					
設定方法 (設定の根拠となった地盤調査方法、地盤改良の方法等)	<input checked="" type="checkbox"/> 標準貫入試験 <input type="checkbox"/> 平板載荷試験 <input checked="" type="checkbox"/> 室内土質試験 <input type="checkbox"/> PS検層 <input type="checkbox"/> 孔内水平載荷試験 <input type="checkbox"/> 地盤改良 [ ] <input type="checkbox"/> その他 [ ] [ ] [ ]				<input type="checkbox"/>	

追加記入です

支持層を記入

1種類の場合は最小のみ記述

2020年4月以降は「PS検層」、「孔内水平載荷試験」に■を記入しないで下さい

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称： △ 虎ノ門マンション

3. 劣化の軽減に関すること（1）（住棟評価用）

3-1 劣化対策等級（構造躯体等）

評価方法： ■ 評価方法基準による □ その他 [ ]

(1) 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 評価関連図書	評価者記入欄					
					確認	備考				
3-1 劣化対策等級（構造躯体等）	<input checked="" type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1	<input checked="" type="checkbox"/> ①項～⑤項の全ての項目に適合 <input type="checkbox"/> ①項～⑤項の全ての項目に適合 <input type="checkbox"/> ⑤項のみに適合			<input type="checkbox"/>					
①.セメントの種類		<input checked="" type="checkbox"/> JISR5210 ボルトランドセメント <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input checked="" type="checkbox"/> 中庸熱 <input checked="" type="checkbox"/> 低熱 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> JISR5213 フライアッシュセメント：混合物を除いた部分を、セメントの重量として用いる <input type="checkbox"/> JISR5211 高炉セメント：混合物の10分の3を除いた部分を、セメントの重量として用いる		設計図 S-1	<input type="checkbox"/>					
②.水セメント比と かぶり厚さ		コンクリート		普通	軽量	普通	軽量			
		水セメント比 W/C(%)	等級3	<input checked="" type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> 45 <input type="checkbox"/> 55 <input type="checkbox"/> 50						
			等級2	<input type="checkbox"/> 55 <input type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> 60 <input type="checkbox"/> 55						
		直接土に接しない 部分のかぶり厚さ	部位		最小かぶり厚さ（cm）					
			耐力壁以外の壁又は床	屋内	2	3				
				屋外	3 (2)	4 (3)				
			耐力壁、柱、はり又は壁ばり	屋内	3	4				
		屋外		4 (3)	5 (4)					
		直接土に接する 部分のかぶり厚さ	壁、柱、床、はり、基礎ばり又は布基礎の立ち上り部分		4	5				
			基礎（布基礎の立ち上り部分を除く。）		6	7				
中庸熱・低熱ボルトランドセメント		適用可		適用外						
<input type="checkbox"/> 水セメント比が部位により異なる場合、部位とW/Cを明示 [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 設計かぶり厚さは、最小かぶり厚さに施工誤差（原則1cm）を考慮して設定 <input checked="" type="checkbox"/> 部材の断面算定にあたり、設計かぶり厚さを考慮している。				計算書 Ⅲ章						
③.コンクリートの品質等		JIS規格コンクリート		<input checked="" type="checkbox"/> コンクリート強度が33N/mm <sup>2</sup> 未満の場合 スランプが18cm以下 <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート強度が33N/mm <sup>2</sup> 以上の場合 スランプが21cm以下 <input checked="" type="checkbox"/> スランプが21cmを超える場合は大臣認定コンクリート使用 <input checked="" type="checkbox"/> 単位水量が185Kg/m <sup>3</sup> 以下 <input type="checkbox"/> 空気が4%～6%（日最低気温の平滑平年値の年間極値が0℃を下回る地域） <input type="checkbox"/> コンクリート中含水率を高くしない措置 其他有効な措置 [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 認定コンクリート ・設計基準強度 ・単位水量 ・空気量 ・スランプ あるいはスランプ70-				設計図 S-1	<input type="checkbox"/>	
		高強度コンクリートの場合、認定書、性能評価書をプラント決定後、速やかに提出する				認定書、性能評価書				
④.施工計画		認定コンクリートにおいて、等級3、等級2の場合		<input checked="" type="checkbox"/> 適切な施工計画を定める指定 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な品質管理計画を定める指定 <input checked="" type="checkbox"/> 不具合の確認と対処方法を定める指定				高強度コンクリート施工計画書	<input type="checkbox"/>	
		密実に充填するための打込み及び締め固めの方法の指定		<input type="checkbox"/> 使用する締め固め機器の種類と使用方法 <input type="checkbox"/> JASS5とは別の指定方法 [ ]						
		打ち継ぎ部の処理方法の指定		<input type="checkbox"/> 打継ぎ部の位置 ・打継ぎ部の形状 ・コンクリートの打継ぎ面の処置 <input type="checkbox"/> JASS5とは別の指定方法 [ ]				設計図 S-3		
		養生方法の指定		<input type="checkbox"/> 湿潤養生の方法 ・養生期間 ・養生温度の配慮 <input type="checkbox"/> JASS5とは別の指定方法 [ ]						

コンクリート強度は JASS5(2009)のFm

高強度コンクリートの場合、認定書、性能評価書をプラント決定後、速やかに提出する

高強度コンクリートの場合、施工計画書をプラント決定後、施工前に提出する

JASS5に準拠する場合には、対応する節番号を図面に記載する



### 3.1.5 記入例(4) 鉄筋コンクリート造 14階建て共同住宅(免震建築物)

#### ○建物概要

建設地 愛知県名古屋市

規模等

- ・建物高さ 41.29m
- ・階数 地上14階、地下1階、塔屋1階
- ・延べ面積 6,140m<sup>2</sup>
- ・住戸数 69戸

構造等

- ・鉄筋コンクリート造
- ・X方向 ラーメン構造
- ・Y方向 耐力壁付ラーメン構造
- ・基礎 杭基礎(場所打ちコンクリート杭)

#### ○構造計算の手法

- ・告示免震計算

#### ○性能表示事項

1-1 耐震等級(倒壊等)	対象外
1-2 耐震等級(損傷)	対象外
1-3 その他(免震構造)	免震建築物
1-4 耐風等級	等級 2
1-5 耐積雪等級	区域外
3-1 劣化対策等級	等級 3

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称：☆ 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（1）（概要）（住棟評価用）

- 1-1 耐震等級（構造躯体の倒壊等防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]
- 1-2 耐震等級（構造躯体の損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]
- 1-3 その他（地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]
- 1-4 耐風等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]
- 1-5 耐積雪等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]

- 注1. 申請者は [ ] 部分のみを記入する。  
 チェック欄：□は、該当部分のみを■とする。  
 2. 申請者記入特記事項・備考欄は、建設評価に伝えるための特記欄  
 3. 概要書・計算書・図面番号、関連設計図書欄は、設計評価のための注記欄で、いずれか一つの記入のみで可。  
 4. 同一敷地内に複数の棟が存する場合、類似内容であれば本書類は一つとし、違いは記号等を用いて区別する。

(1) 構造設計概要

確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
				確認	備考
構造概要	規模等	・建物高さ [ ≒41 m ] 階数：地上 [ 14 階] 地下 [ 1 階] ・延べ面積 [ ≒6140 m <sup>2</sup> ]	構造計算概要書 P.1	□	
	耐震、免震等	<input type="checkbox"/> 耐震建築物 <input checked="" type="checkbox"/> 耐震建築物以外（免震建築物等）			
	構造等	・構造種別 [ 鉄筋コンクリート造 ]			
		・構造形式 Xまたは桁行方向 [ 純ラーメン構造 ] Yまたは張間方向 [ 純ラーメン構造 ]			
構造計算	・基礎構造 [ 杭基礎 ]	構造計算概要書 P.2~4	□		
構造計算の手法	<input type="checkbox"/> 時刻歴応答解析 <input type="checkbox"/> 保有水平耐力計算 <input type="checkbox"/> 限界耐力計算 <input checked="" type="checkbox"/> 告示免震計算 <input type="checkbox"/> 許容応力度等計算 <input type="checkbox"/> その他 [ 令第82条各号及び令第82条の4に定めるところによる構造計算 ]				
材料仕様 (最大のもの)	コンクリート	・強度 [ Fc42 ]	設計図 S-1	□	
	鉄筋	・主筋材質 [ SD390 ] 主筋径 [ D38 ]			
	鉄骨	・鉄骨材質 [ ] ボルト材質 [ ]			
	その他	[ 高強度せん断補強筋 KSS785 ]			

△を付けて数値を丸めてよい

(2) 適用対象の確認

確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
				確認	備考
高さ等	<input type="checkbox"/> 31m以下 <input checked="" type="checkbox"/> 31m超~45m以下 <input type="checkbox"/> 45m超~60m以下 <input type="checkbox"/> 60m超 <input type="checkbox"/> 建築基準法第20条第三号イ（ルート1）			□	
構造認定等 注) 構造②のシートについて ・右の項のいずれかに該当する場合には、 構造②-A を使用し、認定書や確認済 証等を添付する ・右の項のいずれにも該当しない場合 保有耐力許容応力度計算の場合：構造②-B1~B3 限界耐力計算の場合：構造②-C1~C3 告示免震計算の場合：構造②-D1~D5 を使用する。	<input type="checkbox"/> 建築基準法第20条第一号（超高層建築物の構造方法） <input type="checkbox"/> 認定書 <input type="checkbox"/> 性能評価書 <input type="checkbox"/> 評価報告書			□	
	<input type="checkbox"/> 建築基準法第20条第二号ロ、同第三号ロ、同第四号ロ <input type="checkbox"/> 認定書 <input type="checkbox"/> 性能評価書 <input type="checkbox"/> 評価報告書				
	<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 評定書 <input type="checkbox"/> 評価報告書				
	<input checked="" type="checkbox"/> 品確法第58条（耐震等級、耐風等級、耐積雪等級に関する特別評価方法認定） <input checked="" type="checkbox"/> 特別評価方法認定書 <input checked="" type="checkbox"/> 試験結果証明書				
材料認定等 該当する認定書などを添付する	<input checked="" type="checkbox"/> 建築基準法第37条第2号（建築材料認定） <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート <input checked="" type="checkbox"/> 認定書 <input checked="" type="checkbox"/> 性能評価書 <input type="checkbox"/> 評価報告書 <input checked="" type="checkbox"/> その他 [ 高強度せん断補強筋 KSS785 ] <input checked="" type="checkbox"/> 認定書 <input checked="" type="checkbox"/> 性能評価書 <input type="checkbox"/> 評価報告書			□	

時刻歴応答解析、免震等の高度な計算の場合、耐震等級、耐風等級、耐積雪等級のいずれかが2以上の場合は、品確法上の特別評価方法認定

左欄の注)により構造②-A、②-D5に記入し、構造③へ進む

設計内容説明書（兼自己評価書）

案件略称： ☆ 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（2）（建築確認済みで等級1などの場合）

（3）等級の確認（建築確認済みで等級1などの場合）

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄		申請者記入 特記事項 ・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
						確認	備考
1-1 耐震等級 (構造躯体の倒壊等防止) ■ 評価対象外（免震建築物）	<input type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1	適用倍率	<input type="checkbox"/> 倍率 1.5 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.25 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red;">                     免震建築物であっても、1-3の表示を「その他」とした上で、特別評価方法認定により、1-1及び1-2耐震等級の評価を行うことは可能                 </div>	大臣認定書 性能評価書	<input type="checkbox"/>	
1-2 耐震等級 (構造躯体の損傷防止) ■ 評価対象外（免震建築物）	<input type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1	適用倍率	<input type="checkbox"/> 倍率 1.5 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.25 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上			<input type="checkbox"/>	
1-3 その他 (地震に対する構造躯体の倒壊等防止 及び損傷防止)	■ 免震建築物 <input type="checkbox"/> その他	免震建築物の場合 の告示	■ 平成12年建設省告示第2009号第1第3号 <input type="checkbox"/> 一（四号建築物） <input type="checkbox"/> 二（建基法20条第二号又は三号に掲げる建築物） ■ 三（時刻暦応答解析を行い大臣認定取得） <input type="checkbox"/> その他[ ]			大臣認定書 性能評価書	<input type="checkbox"/>
		維持管理	■ 維持管理計画 ■ 敷地管理計画	性能評価書 設計図 S-35	<input type="checkbox"/>		
1-4 耐風等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	■ 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1	適用倍率	■ 倍率 1.2 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red;">                     免震建築物の場合、耐風等級、耐積雪等級のいずれかが2以上の場合は、品確法上の特別評価方法認定が必要となる                 </div>	特別評価方法大臣認定書	<input type="checkbox"/>	
1-5 耐積雪等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	<input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1 ■ 区域外	適用倍率	<input type="checkbox"/> 倍率 1.2 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上 ■ 多雪区域外	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red;">                     多雪区域のみに適用                 </div>		<input type="checkbox"/>	

注) 「1-2耐震等級」「1-4耐風等級」「1-5耐積雪等級」の評価項目を選択しない場合は、申請者記入特記事項欄に「選択無し」と記入願います。

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称： ☆ 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（2）（免震建築物）

\* 建築確認済の場合でも構造②-D5は記入要

(3) 維持管理等に関する事項の評価（告示免震計算）

性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄兼チェック欄	申請者記入 特記事項 備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
					確認	備考
維持管理に関する計画	免震材料等点検計画	■ 定期点検、定期点検、臨時点検および詳細点検として以下の項目が記載されている		5.4維持管理概要	<input type="checkbox"/>	
	時期または頻度 項目	■ 点検時期が各部位ごとに設定されている ■ 下記の項目が記載されている ■ 免震材料 [ 積層ゴム ] [ オイルダンパー ]  □ 耐火被覆 [ ] ■ 配管設備 [ ] ■ 電気配線 [ ] ■ 避雷針 [ ] □ アース [ ] □ [ ] ■ 可撓継手部 [ ] ■ 変位吸収部 [ ]		5.4.3点検項目、調査方法、管理値表	<input type="checkbox"/>	
	方法	■ 目視または計測方法が記載されている [ ]		同上	<input type="checkbox"/>	
	箇所	■ 点検箇所数が記載されている [ ]		同上	<input type="checkbox"/>	
	管理値	■ 管理値が記載されている [ ]		同上	<input type="checkbox"/>	
	管理体制計画	■ 維持管理体制の詳細を定めている 「免震建物点検技術者」の立場と役割が明記されている。		5.4維持管理概要	<input type="checkbox"/>	
敷地の管理に関する 計画	建築物周囲の点検計画	■ 定期点検、臨時点検および詳細点検として以下の項目が記載されている		5.4維持管理概要	<input type="checkbox"/>	
	時期または頻度 項目	■ 点検時期が各部位ごとに設定されている ■ 下記の項目が記載されている ■ クリアランス [ ] ■ 建物位置標識 [ ] ■ 建物位置 [ ] □ 不同沈下 [ ] ■ 可燃物 [ ] □ 排水状況 [ ] □ [ ]		5.4.3点検項目、調査方法、管理値表	<input type="checkbox"/>	
	方法	■ 目視または計測方法が記載されている [ ]		同上	<input type="checkbox"/>	
	箇所	■ 点検箇所数が記載されている [ ]		同上	<input type="checkbox"/>	
	管理値	■ 管理値が記載されている [ ]		同上	<input type="checkbox"/>	
	管理体制計画	■ 維持管理体制の詳細を定めている 「免震建物点検技術者」の立場と役割が明記されている。		5.4維持管理概要	<input type="checkbox"/>	

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称：☆ 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（3）（地盤・基礎）

1-6 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]

1-7 基礎の構造方法及び形式等 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 [ ]

(6) (7) 基礎の構造方法及び形式等 / 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法

性能表示事項		設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入 特記事項 備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
					確認	備考
直接基礎	構造方法	<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他 [ ]			<input type="checkbox"/>	
	形式	<input type="checkbox"/> 独立基礎				
		<input type="checkbox"/> 布基礎				
		<input type="checkbox"/> ベタ基礎 <input type="checkbox"/> その他 [ ]				
地盤の許容応力度		[ ] KN/m <sup>2</sup>				
杭状改良地盤基礎	杭状改良地盤の許容支持力度	[ ] KN/m <sup>2</sup>			<input type="checkbox"/>	
	杭状改良地盤の許容支持力	[ ] KN/本				
	地盤改良方法	[ ]				
杭基礎	杭種	支持層 [ GL-40以深の砂礫層を支持層とする <b>支持層を記入</b> ]			<input type="checkbox"/>	
		杭種 [ 支持杭(場所打ち杭) ]				
		工法 [ アースドリル底底工法(HND工法) ]				
	杭径（最小～最大） 場所打ち杭、深礎は拡底径～拡頭径も表示 拡底径は設計径を表示	最小径 [ 150 ] cm ~ 最大径 [ 250 ] cm				
		最小拡頭径 [ ] cm ~ 最大拡頭径 [ ] cm 最小拡底径 [ 260 ] cm ~ 最大拡底径 [ 410 ] cm				
	杭長（最小～最大）小数点以下切捨て	最小長 [ 43 ] m 最大長 [ 53 ] m				
杭の許容支持力（最小～最大）	最小 [ 11928 ] KN/本 最大 [ 30812 ] KN/本					
設定方法 (設定の根拠となった地盤調査方法、地盤改良の方法等)	<input checked="" type="checkbox"/> 標準貫入試験 <input type="checkbox"/> 平板載荷試験 <input checked="" type="checkbox"/> 室内土質試験 <input type="checkbox"/> PS検層 <input type="checkbox"/> 孔内水平載荷試験 <input type="checkbox"/> 地盤改良 [ ] <input type="checkbox"/> その他 [ ] [ ] [ ]				<input type="checkbox"/>	

追加記入です

支持層を記入

1種類の場  
合は最小  
のみ記入

2020年4月以降は「PS検層」、「孔内水平載荷試験」に■を記入しないで下さい

設計内容説明書 (兼 自己評価書)

案件略称: ☆ 虎ノ門マンション

3. 劣化の軽減に関すること (1) (住棟評価用)

3-1 劣化対策等級 (構造躯体等)

評価方法: ■ 評価方法基準による □ その他 [ ]

(1) 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 評価関連図書	評価者記入欄	
					確認	備考
3-1 劣化対策等級 (構造躯体等)	■ 等級3 □ 等級2 □ 等級1	■ ①項~⑤項の全ての項目に適合 □ ①項~⑤項の全ての項目に適合 □ ⑥項のみに適合			<input type="checkbox"/>	
①.セメントの種類		■ JISR5210 ボルトランドセメント ■ 普通 ■ 中庸熱 ■ 低熱 □ その他 □ JISR5213 フライアッシュセメント: 混合物を除いた部分を、セメントの重量として用いる □ JISR5211 高炉セメント: 混合物の10分の3を除いた部分を、セメントの重量として用いる		設計図 S-1	<input type="checkbox"/>	
②.水セメント比と かぶり厚さ		コンクリート		普通 軽量 普通 軽量	設計図 S-1	<input type="checkbox"/>
		水セメント比 W/C(%)	等級3	■ 50 □ 45 □ 55 □ 50		
			等級2	□ 55 □ 50 □ 60 □ 55		
		部位		最小かぶり厚さ (cm)		
直接土に接しない 部分のかぶり厚さ	耐力壁以外の壁又は床	屋内	2	3	設計図 S-1	<input type="checkbox"/>
		屋外	3 (2)	4 (3)		
直接土に接する 部分のかぶり厚さ	耐力壁、柱、はり又は壁ばり	屋内	3	4	設計図 S-1	<input type="checkbox"/>
		屋外	4 (3)	5 (4)		
		壁、柱、床、はり、基礎ばり又は布基礎の立ち上り部分 基礎 (布基礎の立ち上り部分を除く。)	4	5		
		基礎 (布基礎の立ち上り部分を除く。)	6	7		
		中庸熱・低熱ボルトランドセメント	適用可	適用外		
		( ) 内の数値は有効な仕上のある場合				
		□ 水セメント比が部位により異なる場合、部位とW/Cを明示 [ ]				
		■ 設計かぶり厚さは、最小かぶり厚さに施工誤差 (原則 1 cm) を考慮して設定				
		■ 部材の断面算定にあたり、設計かぶり厚さを考慮している。		計算書 Ⅲ章		
③.コンクリートの品質等		■ JIS規格コンクリート		設計図 S-1	<input type="checkbox"/>	
		■ コンクリート強度が33N/mm <sup>2</sup> 未満の場合 スランプが18cm以下 ■ コンクリート強度が33N/mm <sup>2</sup> 以上の場合 スランプが21cm以下 ■ スランプが21cmを超える場合は大臣認定コンクリート使用 ■ 単位水量が185Kg/m <sup>3</sup> 以下 □ 空気が4%~6% (日最低気温の平滑平年値の年間極値が0℃を下回る地域) □ コクリート中含水率を高くしない措置その他の有効な措置 [ ]				
		■ 認定コンクリート ・設計基準強度 ・単位水量 ・空気が ・スラップ あるいはスラップ 70- ・材料分離抵抗の試験方法、試験時期 ・回数等を定める規定		認定書、性能評価書		
④.施工計画		■ 認定コンクリートにおいて、等級3、等級2の場合		高強度コンクリート施工計画書	<input type="checkbox"/>	
		■ 適切な施工計画を定める指定 ■ 適切な品質管理計画を定める指定 ■ 不具合の確認と対処方法を定める指定				
		■ 密実に充填するための打込み及び締め固めの方法の指定				
		・使用する締め固め機器の種類と使用方法 ・JASS5とは別の指定方法 [ ]				
		■ 打ち継ぎ部の処理方法の指定		設計図 S-3	<input type="checkbox"/>	
		・打継ぎ部の位置 ・打継ぎ部の形状 ・コンクリートの打継ぎ面の処置 ・JASS5とは別の指定方法 [ ]				
		■ 養生方法の指定				
		・湿润養生の方法 ・養生期間 ・養生温度の配慮 ・JASS5とは別の指定方法 [ ]				

コンクリート強度は JASS5(2009)のFm

高強度コンクリートの場合、認定書、性能評価書を業者決定後、速やかに提出する

高強度コンクリートの場合、施工計画書を業者決定後、施工前に提出する

JASS5に準拠する場合には、対応する節番号を図面に記載する

### 3. 劣化の軽減に関すること (2)

案件略称: ☆ 虎ノ門マンション

【構造④-2】

(1) 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造 続き

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 評価関連図書	評価者記入欄	
					確認	備考
⑤.その他の構造部材等		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 構造躯体等が令3章耐久性等関係規定のうちの下記の規定に適合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造部材（令第37条） ・コンクリートの材料（令第72条1,3号）</li> <li>・コンクリートの強度（令第74条3項）</li> <li>・コンクリートの養生（令第75条） ・鉄骨のかぶり厚さ（令第79条の3）</li> </ul> </li> <li>□ 特殊な工法によるものは、建設大臣が定めた技術的基準のうちの劣化規定に従う                             <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 壁式鉄筋コンクリート造：平13国交告第1026号に適合</li> <li>□ プレストレストコンクリート造：昭58建告第1320号に適合</li> <li>□ 壁式ラーメン鉄筋コンクリート造：平13国交告第1025号に適合</li> <li>□ その他 [ ]</li> </ul> </li> </ul>			<input type="checkbox"/>	

(2) 鉄骨造

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 評価関連図書	評価者記入欄	
					確認	備考
3-1 劣化対策等級 (構造躯体等)	<input type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1	<input type="checkbox"/> ①項～④項の全ての項目に適合、但し*の項目は除外 <input type="checkbox"/> ①項～④項の全ての項目に適合、但し**の項目は除外 <input type="checkbox"/> ④項のみに適合			<input type="checkbox"/>	
①.構造躯体		<input type="checkbox"/> 柱、梁、筋かいの防錆措置は評価方法基準 3-1(3)□①aの基準に適合** <input type="checkbox"/> 柱、梁、筋かいの防錆措置は評価方法基準 3-1(3)□②aの基準に適合* <input type="checkbox"/> 柱、梁、筋かい以外の部分は鉛系さび止めペイント塗り回数2以上、又は同等の防錆措置 ただし、等級3の場合は厚さ12mm（等級2の場合は厚さ9mm）以上の鋼材については、この限りでない			<input type="checkbox"/>	
②.床下		<input type="checkbox"/> 床下は評価方法基準 3-1(3)イ①fの基準に適合			<input type="checkbox"/>	
③.小屋裏		<input type="checkbox"/> 小屋裏は評価方法基準 3-1(3)イ①gの基準に適合			<input type="checkbox"/>	
④.構造部材等		<input type="checkbox"/> 構造躯体等が構造部材の耐久（令第37条）に適合 <input type="checkbox"/> 構造方法に関する補足：特殊な工法によるものは、国土交通大臣が定めた技術的基準のうちの劣化規定に従う <input type="checkbox"/> [ ]			<input type="checkbox"/>	